

公益財団法人 日本サッカー協会  
2015年度 第6回理事会

## 協議事項

<p>1. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 新国立競技場の件</p> <p>(1)新国立競技場について</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のサッカー競技会場の新国立競技場について、招致活動の際に国際公約とした下記の施設条件を、JFAとして今後も要望していきたい。</p> <p>■新国立競技場の施設条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開閉式屋根の設置</li> <li>・ 可動式スタンドの採用</li> <li>・ 収容人数 80,000 人</li> </ul> <p>新国立競技場は、東京 2020 オリンピックのみならず、その後のスポーツ界に不可欠な存在である。サッカー界としても 2023 年 FIFA 女子ワールドカップの招致、更には FIFA ワールドカップの招致に必要となる。JFA として当初の計画を変更することには反対であり、上記施設条件での建設実現に向けて今後とも関係者に強く要望し、調整していく。</p> <p>(2)追加会場について</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のサッカー競技会場の追加会場について組織委員会から報告を受けた。JFA は改めて鹿嶋市・豊田市・吹田市の 3 会場を、全て追加開催会場として組織委員会へ要望していきたい。</p> <p>■組織委員会からの報告内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 月 8 日の IOC 理事会ではオリンピックサッカー競技の、追加会場数・開催場所に関して、計画されている 6 会場に加え、3 会場においても引き続き国際サッカー連盟 (FIFA) と検討する。</li> </ul> <p>については、JFA として追加 3 会場での開催に向けて、今後とも関係者へ強く要望・調整を行っていくこととする。</p>
<p>2. ウェルフェアオフィサー設置の件</p> <p><b>(協議) 資料No.1①②</b></p> <p>国際化、様々な価値観、生活様式の多様化が進んだことで、日本の社会のみならず、サッカーを取り巻く環境の中でも差別や暴力に対する脆弱な意識、思考、行動が見受けられる。これらを排除するだけでなく、より正しい思考に導かれて差別、暴力(暴言、ハラスメントを含む)がサッカー界から、また、我々の暮らす社会からも根絶されることが求められる。</p> <p>さらには、サッカーに関わるすべての人々が安全にサッカーを楽しむことができる環境を作り出すこと、また、サッカー活動においてリスペクト精神が浸透し、オンザピッチ、オフザピッチでフェアなプレーや行いが確保されることが大切であり、誰もがリスペクトやフェアプレーの考え方を理解することが必要である。</p> <p>“ウェルフェア”とは、幸福、快適な生活、福利を意味する。ウェルフェアオフィサーを以下のとおり、各種サッカー協会、連盟、競技会、クラブに設置し、サッカーを取り巻く環境の“ウェルフェア”醸成に努めながら、人々がよりサッカーを楽しめる環境を広げていきたい。</p> <p>(1)ウェルフェアオフィサーの設置要領(別紙①)の制定</p>

ウェルフェアオフィサーの考え方や役割、業務、認定等について要領を定める。これにより日本サッカー協会、地域/都道府県サッカー協会、加盟団体、競技会、クラブにウェルフェアオフィサーの設置を求め、各団体におけるリスペクト、フェアプレーの推進、差別、暴力の根絶を図る。

ウェルフェアオフィサーの種類は、次の3つ。

- ① ウェルフェアオフィサー（ジェネラル）
- ② マッチ・ウェルフェアオフィサー
- ③ クラブ・ウェルフェアオフィサー

\* ウェルフェアオフィサーの仕組み（別紙②）

## (2) ウェルフェアオフィサー認定研修会/シンポジウムの開催

本年も「JFA リスペクト フェアプレー デイズ」を設置し、そのうち、これまでのリスペクトシンポジウムを9月12日（土）に地域/都道府県、加盟団体のウェルフェアオフィサー候補者に参加を求め、ウェルフェアオフィサーに特化して開催する。

- ① 日 時 9月12日（土）12：00～16：00
- ② 会 場 メイン：サッカーミュージアム、テーマ別分科会：JFA ハウス会議室
- ③ 参加者 JFA、地域/都道府県サッカー協会、加盟団体のウェルフェアオフィサー候補者
- ④ 内 容

ア. オープニング

イ. リスペクト、フェアプレーの考え方（全体）

ウ. ウェルフェアオフィサーの役割、業務、認定等の考え方（全体）

エ. ウェルフェアに関する講習会/研修会の開催について（分科会）

オ. リスペクト/フェアプレー等講習会の開催について（分科会）

カ. 差別、暴力の実態と撲滅について（分科会）

キ. 差別、暴力事案発生時の対応について（分科会）

ク. クロージング（ウェルフェアオフィサー認定）

## ⑤ 他の「JFA リスペクト フェアプレー デイズ 2015」実施項目

Jリーグ等、様々な試合における差別/暴力撲滅宣言（昨年を引き続き）

## ⑥ 使用する資料等

ア. リスペクト/フェアプレーの考え方

イ. ウェルフェアオフィサー設置要領

ウ. マッチ・ウェルフェアオフィサーの活動（方法）と活動実績

エ. 暴力窓口対応実績と対応方法

オ. サッカー現場における暴力の実態と対応

カ. 差別とは何かと差別の実態（海外事例を含む）

キ. その他リスペクト/フェアプレー、ウェルフェアオフィサー活動に必要な資料

## (3) 地域/都道府県協会、加盟団体へのお願い

- ① ウェルフェアオフィサー候補者の選定、9月12日（土）開催の「ウェルフェアオフィサー認定研修会/シンポジウム」参加
- ② 各地域/都道府県、加盟団体における所属クラブを対象としたクラブ・ウェルフェアオフィサー認定研修会

<p>③ 大会における「マッチ・ウェルフェアオフィサー」の設置（大会前の研修会実施を含む）</p> <p>④ ウェルフェアオフィサーによる、リスペクト/フェアプレー研修会、差別/暴力対策研修会の開催</p>
<p>3. タスクフォースの設置の件</p>
<p><b>（協議）資料No.2</b></p> <p>「JFA 中期計画 2015-2022」で設定した JFA ミッションの推進にあたり、特に JFA 内外で横断的に検討・推進していくべき事項について以下の3つのタスクフォースを設置したい。</p> <p>(1) 事業評価タスクフォース</p> <p>(2) JFA メンバーシップタスクフォース</p> <p>(3) 施設整備タスクフォース</p> <p>※各タスクフォースの詳細は別添資料のとおり。</p>
<p>4. 2015/2016 年競技規則改正の件</p>
<p><b>（協議）資料No.3①②</b></p> <p>2015/2016 年のサッカー競技規則の改正は別紙の通り。</p>
<p>5. JFA インターナショナル・コーチング・コース 2015（AFC 加盟協会向け）の件</p>
<p>アジア貢献事業の一環として、下記のユース育成・指導者養成コースを開催したい。</p> <p>今回は、ユース育成担当のテクニカルダイレクターもしくはそれに準ずる指導者向けのコースとし、各国のサッカー発展のために必要不可欠な分野の支援を図る。</p> <p>コース名：（第8回）JFA インターナショナル・コーチング・コース 2015（AFC 加盟協会向け）</p> <p>期 間：7月13日（月）～18日（土）</p> <p>会 場：J-GREEN 堺</p> <p>講 師：ナショナルコーチングスタッフ、ナショナルトレセンコーチ</p> <p>募集人数：25名（最大）</p> <p>応募資格：・ AFC 加盟協会にて、ユース育成・指導者養成に携わる、英語が堪能なダイレクターもしくは担当者</p> <p>・ 各協会から最大2名が応募可能</p> <p>費用負担：日本までの国際航空券代は、参加協会または参加者が負担する。</p> <p>日本国内移動費・宿泊費・食費は JFA が負担するが、国際交流基金の助成を受ける予定。</p> <p>備 考：第1回は2006年3月13日～19日にJヴィレッジで開催し20名が参加。</p> <p>第2回は2007年3月12日～18日にJヴィレッジで開催し20名が参加。</p> <p>第3回は2008年4月19日～25日にJヴィレッジで開催し26名が参加。</p> <p>第4回は2009年3月9日～15日にJヴィレッジで開催し19名が参加。</p> <p>第5回は2010年2月27日～3月5日にJヴィレッジで開催し26名が参加。</p> <p>第6回は2012年4月15日～4月24日にJ-GREEN 堺にて開催し28名が参加。</p> <p>第7回は2014年3月15日～3月20日にJ-GREEN 堺にて開催し19名が参加。</p>

6. 日本人指導者海外派遣の件
<p><b>(協議) 資料No.4</b></p> <p>アジア貢献事業の一環として実施している指導者の海外派遣に関し、指導者本人、派遣先協会との契約を延長したい。</p> <p>派遣指導者：三田 智輝(みた みちてる) (40 歳)</p> <p>派遣先協会：ヨルダンサッカー協会</p> <p>資 格：AFC 公認 A 級ライセンス (2013 年取得)</p> <p>役 職：女子トレセンヘッドコーチ</p> <p>契約期間：7 月 1 日～9 月 (JICA 赴任日の前日まで)</p> <p>費用負担：[JFA] 給与及び傷害保険料 [ヨルダンサッカー協会] 住居・自動車、日本-ヨルダン間の航空券</p> <p>略 歴：添付別紙のとおり</p> <p>補 足：三田氏は、2015 年 1 月 24 日で JICA での 1 回目の派遣期間が満了、2015 年 6 月より 2 回目の JICA 派遣で、再渡航する予定だったため、それまでの 5 ヶ月間 JFA とヨルダンサッカー協会間で契約締結し、継続派遣されていた。ところが ISIL による邦人殺害事件があり、他の中東諸国への派遣同様、JICA 内部では一時、派遣に関して慎重になった時期があった。結局 ISIL の影響がそれ程大きくないと判断し、JICA は時期を改め、9 月から 2 回目の 10 ヶ月間の派遣をすることを決定した。これを踏まえ、ヨルダンサッカー協会と相談した結果、7 月から 9 月までの 3 ヶ月間もヨルダンにて指導を継続することとし、女子トレセン活動の充実のために活動を継続して欲しいとの要請に応え、引き続き 9 月まで契約を延長したいもの。</p>
7. 天皇杯運営要項 改訂の件
<p><b>(協議) 資料No.5</b></p>
8. U-18 フットサル日本代表監督選任の件
<p><b>(協議) 資料No.6</b></p> <p>AFC は、2017 年に新たに「AFC U-20 フットサル選手権」を開催することとしている。日本は、この大会で好成績を挙げるだけでなく、将来のフットサル日本代表の強化基盤をより確実なものにしたい。そこで U-18 年代 (今年度) のフットサル日本代表チームを立ち上げ、活動したい。については、U-18 フットサル日本代表監督に小森 隆弘 (こもり たかひろ/44 歳) を選任したい。</p> <p>なお、今年度計画の活動は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 年内に 2 度の代表候補によるキャンプの実施 (U-19 フットサル日本代表で 2015 年度事業計画済)</li> <li>② フットサル U-18 年代のチームの指導者の選任</li> <li>③ 代表候補者の視察</li> </ol>
9. 各種委員及び部会員選任の件
<p>フットサル委員及び技術委員・部会員を、以下の通り変更したい。</p>

(1) フットサル委員会

(旧) 今泉 守正 (いまいずみ もりなお)

(新) 小西 鉄平 (こにし てっぺい)

※今泉氏の辞任に伴う変更である。

(2) 技術委員会・部会

**(協議) 資料No.7**